

（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業

方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の説明

令和元年 12 月

横浜市

1. 方法書説明会の開催及び方法書の概要に関する周知結果

『（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業「環境影響評価方法書」に関する縦覧及び説明会開催のお知らせ』（別添資料）を以下のとおり周知しました。

1.1 各住戸等へのポスティング

令和元年10月28日（月）、29日（火）に各住戸等へのポスティングにより、表1-1及び図1-1に示す方法書対象地域に配布しました。

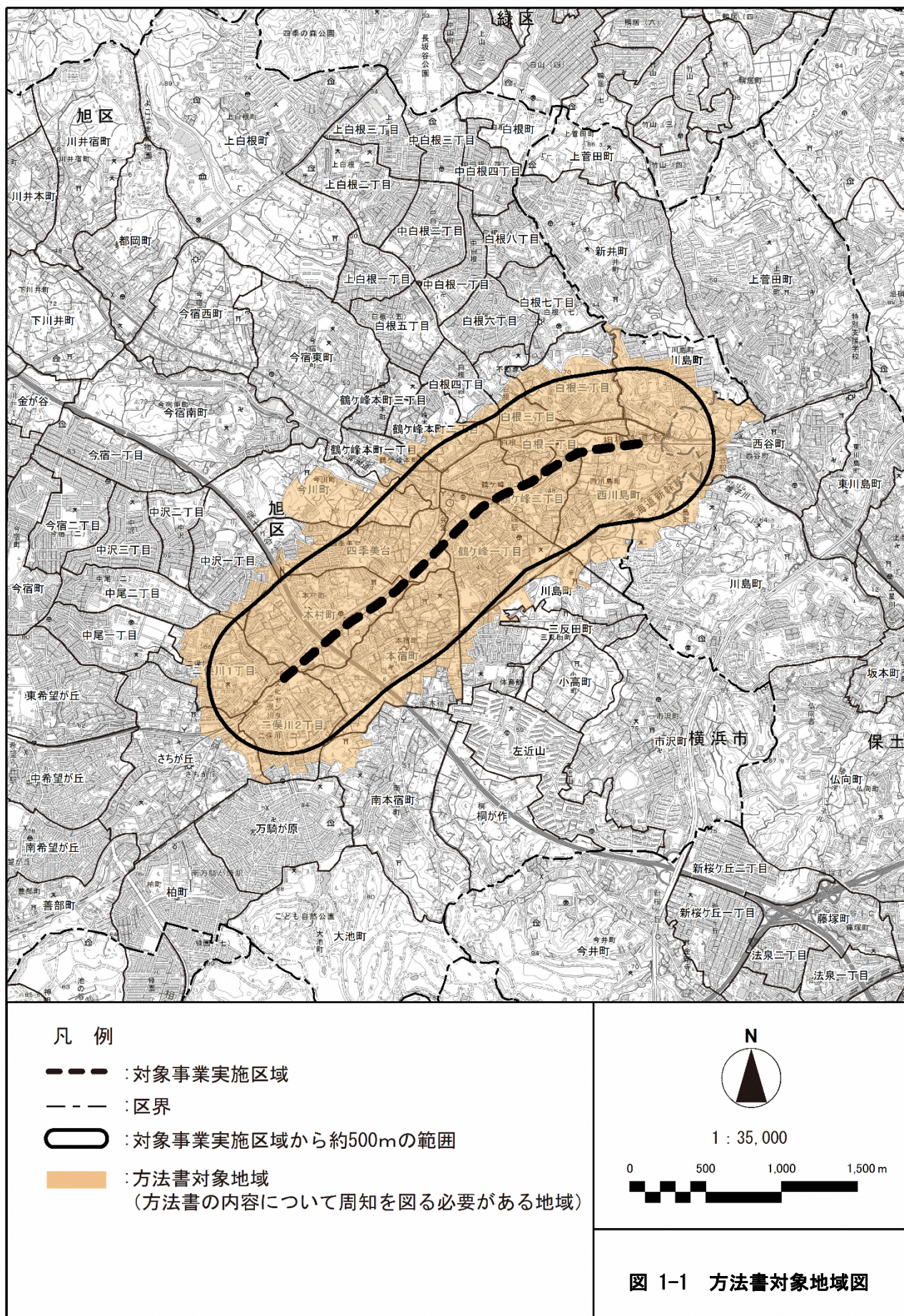
表 1-1 方法書説明会開催等のお知らせの配布部数

区名	町丁名	周知方法 (周知範囲)	配布部数
旭区	川島町	各住戸等へのポスティング (方法書対象地域)	1,031 部
	西川島町		1,382 部
	白根一丁目		554 部
	白根二丁目		864 部
	白根三丁目		684 部
	白根四丁目		199 部
	鶴ヶ峰一丁目		2,511 部
	鶴ヶ峰二丁目		2,345 部
	鶴ヶ峰本町一丁目		601 部
	鶴ヶ峰本町二丁目		779 部
	四季美台		1,786 部
	今川町		322 部
	本宿町		2,625 部
	本村町		2,252 部
	二俣川 1 丁目		2,299 部
	二俣川 2 丁目		2,780 部
	中沢一丁目		349 部
	さちが丘		429 部
	南本宿町		38 部
	保土ヶ谷区		西谷町
川島町		113 部	
合計			24,591 部

1.2 PRボックスへの配架

令和元年10月25日（金）に対象事業実施区域に近接する「西谷駅」「鶴ヶ峰駅」「二俣川駅」に設置してあるPRボックス※へ各駅20部、配架しました。

※PRボックス：横浜市が市民に対し公告印刷物を配布する目的で設置



2. 方法書説明会の開催状況、質疑、意見の概要及び事業者の説明

2.1 方法書説明会の開催状況

方法書説明会は、表 2-1 に示す日時で計 2 回開催し、環境影響評価方法書の概要を参加者に説明しました。

表 2-1 方法書説明会の開催結果

回	開催日時	会場	参加人数
第 1 回	令和元年 11 月 22 日（金） 19:00～20:13	旭公会堂 ホール （横浜市旭区鶴ヶ峰 1－4－12 旭区総合庁舎 4 F）	112 名
第 2 回	令和元年 11 月 24 日（日） 19:00～20:17		93 名
合計			205 名

2.2 方法書説明会における質疑、意見の概要及び事業者の説明

各開催日の意見の概要と事業者の説明は、表 2-2～表 2-3 に示すとおりです。

なお、整理にあたっては、発言順ではなく、項目別としています。

表 2-2 (1) 方法書説明会（第 1 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
事業計画	二俣川駅付近の箱型トンネルを工事する具体的な場所はどこでしょうか。工事は現在の線路を残したまま実施すると聞いていますが、電車が地下に入っていく箇所は具体的にどの辺りになるのでしょうか。	今回の説明会では大まかな位置をお示ししております。今後、都市計画市素案の説明会で、もう少し精度が上がった図面でご説明いたします。それに対しご意見を頂き、都市計画案として、皆様方に再度、図面をお示しします。
事業計画	鶴ヶ峰駅及び駅の出入口はどの辺りになるのでしょうか。	新しい鶴ヶ峰駅の大まかな位置については、5月の事業説明会でお示したとおり、鶴ヶ峰駅北側の用地（旧：市営住宅地）付近を予定しています。 駅出入口については、現在、検討を進めています。
事業計画	本事業の費用について、相模鉄道は負担しないのでしょうか。	事業費は約 740 億円を見込んでおります。今後、相模鉄道との協議により双方の負担を決定していくため、現時点では決まっておりません。
事業計画	地下化後の鶴ヶ峰駅は地下何階程度を予定しているのでしょうか。	レール位置を地上から約 30m の位置に計画しており、現時点では 4 階層を考えております。
事業計画	地下約 30m という事で、排気塔が必要になってくると思いますが、排気の周辺への影響についてはどのように考えているのでしょうか。	駅部において、排気設備を設けることとなりますが、空気の滞留解消が対象となります。 なお、排気設備の詳細については今後検討して対応する予定です。
施行計画	知らない間に家の下で工事をする事はあるのでしょうか。	トンネルの掘削箇所については、権利の設定を行った上で工事を行うため、知らない間に掘るという事はありません。
施工計画	工事の時間帯はどのようになるのでしょうか。	なるべく、昼間に工事を行いたいと考えております。 しかし鉄道の運行上やむを得ず終電後の夜間に作業を行う場合がありますが、可能な限り夜間作業は少なくするよう努めていきたいと考えております。

表 2-2 (2) 方法書説明会（第 1 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
施工計画	鶴ヶ峰駅周辺には保育園がありますが、子供たちの安全面への配慮、保育施設への影響は考えているのでしょうか。	今後、安全に配慮した施工計画を検討していきます。
施工計画	地下化後の鶴ヶ峰駅が帷子川親水緑道の下を潜る形に見えますが、工事中に緑道が分断されることはあるのでしょうか。	工事に伴い、一部開削する箇所がありますが、工事の際には遊歩道を分断しない、もしくは代替ルートを考慮した施工計画を検討します。
騒音、振動等	騒音、振動、大気質等により身体的影響を受けた場合、対策や補償は考えているのでしょうか。	まずは、影響が出ないよう工事を進めていきます。騒音・振動・大気質については、環境影響評価に基づき、予測評価を実施します。予測評価の結果に収まっていない場合には、新たな対策を行います。
大気質	「大気質に係る予測・評価手法」に、浮遊粒子状物質は建設機械や工事車両の排気管から排出される粉じんのみを対象とありますが、工事中に巻き上げられる粉じん、砂ぼこりを対象外としているのは何故でしょうか。	工事ヤードでの散水、工事用車両のタイヤ洗浄等により粉じんの飛散を防止する対策をとるため対象外としております。ご迷惑をかけないよう工事を行っていきたいと思っております。
大気質	粉じんの飛散対策として散水を行うとの事ですが、工事中は水をまき続けるという事でしょうか。	一般的な対策として、散水等をご説明させて頂きました。詳細については、施工計画の精度が上がった段階でご説明させて頂ければと思います。
地盤	鶴ヶ峰 2 号踏切から鶴ヶ峰 4 号踏切の間について、昔沼地があったような気がします。地盤が弱いと思うのですが、どのような状況なのでしょうか。	地質については文献調査をしておりますが、文献では地表から 10m 程で硬い岩盤がでてくると示されており、ご質問頂いた少し柔らかい地盤については現時点では見つかっておりません。今後、設計を進めていく段階でのボーリング調査等により確認していきます。
その他 (事業計画に関する意見)	踏切廃止となる鉄道の立体交差化について賛成です。是非宜しく願います。	本事業について、ご賛同のご意見ということで承らせて頂きます。ありがとうございます。
その他 (環境調査の範囲)	環境調査の範囲を教えてください。	環境調査の範囲は、鉄道沿線から片側 500m としています。騒音、振動、地下水への影響が、おおむね線路から約 500m の範囲で収まると考えているためです。
その他 (都市計画)	都市計画市素案説明会の時期はいつ頃になるのでしょうか。	現時点では未定です。ただし、早期事業化を目指しているため、なるべく早く実施したいと考えています。

表 2-2 (3) 方法書説明会（第 1 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
その他 (跡地利用)	地下化後の鉄道跡地の利用はどうなるのでしょうか。	鉄道跡地については、基本的に相模鉄道が所有する土地になります。 現時点では未定ですが、地域の公共貢献に繋がる利用となるよう協議を行って行きたいと考えています。
その他 (跡地利用)	地下化後の鉄道跡地の利用について、用途が決まる前に、相模鉄道に対して意見、要望等を伝える機会はあるのでしょうか。	現時点で意見要望等をお伝えする機会は決まっておりませんが、説明会で頂いたご意見については、横浜市から相模鉄道へお伝えしたいと考えております。
その他 (複々線化)	今後、乗客の増員等の影響により、複々線化が必要になる事もあると思いますが、この計画で進めてよいのでしょうか。	複々線化については利便増進等の事業ですので、鉄道事業者の判断となります。 現時点では、複々線化について把握しておりません。
その他 (複々線化)	今後、複々線化について、横浜市と鉄道事業者が協議していくことはあるのでしょうか。	複々線化する場合、鉄道事業者から事業提案を受ける形となります。基本的に鉄道事業者が自ら行う事業となります。

表 2-3 (1) 方法書説明会（第 2 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
事業計画	台風等の大雨に対する雨水対策として、こういった対策を考えているのでしょうか。	鉄道が地下化されるため、地下に雨水が入らないよう、鉄道に関する技術上の基準に基づき、対策等を検討していきます。
事業計画	鶴ヶ峰駅は地表面から構造物までの深さはどの程度になるのでしょうか。	レール位置を地上から約 30m の位置に計画しております。 断面図については、現時点では詳細な設計を行っていないため、大まかなイメージとなります。
事業計画	条例の改正等により、事業の工期を短縮することはできないのでしょうか。	現在線を営業しながらの工事になるため、時間を要する事業になりますが、少しでも早期に完成できるよう事業を進めてまいります
事業計画	トンネルの幅が約 11m とありますが、工事の幅としてはどの程度になるのでしょうか。また、トンネルについて、現在の鉄道の真下を掘削する形になるのでしょうか。	基本的には鉄道敷地内に収まる形での工事となりますが、擁壁、箱型トンネルについては鉄道の横を掘削するため、鉄道敷地から外れる形となります。 また、トンネル位置については、一部、駅部分について現在の鉄道敷地から外れる形となりますが、鶴ヶ峰駅北側の用地等（旧：市営住宅地）を用いて工事を行う予定です。
事業計画	水道道の地下には水道管が 2 本通っていますが、水道管とトンネルの位置関係について教えてください。	トンネルは水道管の下を通過する予定になります。今後、水道管管理者と協議を行い、必要な離隔を確保した上で、設計を進めて参ります。
事業計画	近年、横浜市では防災計画を見直していると思いますが、本事業は東日本大震災規模の災害を想定した上で設計等を行っているのでしょうか。	設計については今後進めていきますが、震災を踏まえた耐震設計を進めて参ります。
施工計画	シールド工法の残土について、一日あたり工事用車両何台分になるのでしょうか。	工事用車両台数については、今後検討していきます。準備書の段階でお示しできると考えております。
施工計画	今後、施工ヤードが増加することはあるのでしょうか。	施工ヤードの位置については、本事業で採用を考えている工法を踏まえた上で設定を行っております。具体的には、開削トンネル及び擁壁区間、シールドの発進基地を想定した箇所施工ヤードを設定しております。 今後、詳細な施工計画を立てた際に位置等を決定していく形となりますが、現時点ではお示しする箇所と考えております。
施工計画	交通渋滞の影響によりバスの運行状態が乱れる事が多くありますが、工事用車両の増加により、更なる交通渋滞が起きないように、対策をお願いいたします。	交通渋滞に対して、工事用車両による影響が抑えられるよう、施工計画を検討して参ります。

表 2-3 (2) 方法書説明会（第 2 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
地下水位	防災井戸の利用も考慮し、地下水位については、「自然環境の保全」の観点だけでなく、「安心して快適に生活できる生活環境の保全」の観点についても考慮して頂ければと思います。	現地のボーリング資料や現地調査により、環境影響評価項目の中で地下水位を観測していきます。 なお、遮水性のあるシールド工法を採用する等、大前提として地下水位の低下が生じないような工事を行いたいと考えております。地下水位の低下が確認された場合には、原因を特定した上で対策を行っていきます。
騒音・振動	予測内容の中で、「工事中の列車の走行に伴う鉄道の騒音」とありますが、振動を対象としていないのは何故でしょうか。	騒音については、レールの切替等の影響により、騒音の変化が考えられるため、予測の対象としております。 一方振動については、枕木等の変更は行わず、振動に変化はないと考えられるため、選定しておりません。
騒音・振動	騒音・振動の調査地点について、どのような根拠を持って選定を行っているのでしょうか。	構造形式毎に断面が変わるため、構造形式毎に調査地点を選定しております。
土地の安定性	土地の安定性について、急傾斜地の崩壊以外に該当するものはあるのでしょうか。	土地の安定性については、地盤の変形等も含まれております。
交通混雑、歩行者の安全	地域交通の状況、歩行者の状況について、それぞれ調査回数を平日の 1 回としていますが、1 回で評価できるのでしょうか。	国が実施する交通情勢調査（道路交通センサス）での現地調査は原則 1 回となっており、それに準じて設定しております。
その他 （他事業との関連性）	本事業は東部方面線事業の延長上の事業になるのでしょうか。	本事業は踏切の除却を目的とした事業になります。東部方面線事業は都心へのアクセス向上を目的とした事業です。目的が異なるため、同一事業ではありません。
その他 （交通安全対策）	鶴ヶ峰駅付近のココロット出入口前について、歩行者の交通が危険だと感じています。工事中だけでなく、供用時の歩行者の安全についても、調査及び評価の対象に含めて頂きたいです。	工事中については、工事用車両の走行が歩行者の安全に影響を及ぼす可能性があるため、項目の選定を行っております。 本事業については、鉄道を地下化し、踏切を除却するまでが対象となるため、踏切解消後の安全対策につきましては、今後、検討させていただきます。
その他 （交通安全対策）	踏切解消により、自動車の速度上昇が考えられますが、鶴ヶ峰 5 号踏切については児童の通学路となっているため、児童に危険が及ばない様な対策をお願いいたします。	鶴ヶ峰 5 号踏切について、通学路となっており、踏切が交通に支障をきたしている事についても承知しております。 踏切解消後の安全対策につきましては、今後、検討させていただきます。
その他 （地下出入口）	地下への出入口について、道路上を横断せずに地下へ入れるよう、安全を考慮した形で検討して頂きたいです。	地下への出入口については、現在、検討を進めています。 鶴ヶ峰駅周辺では、まちづくり構想を策定しており、まちの形態により地下出入口の状況が変化するため、今回頂いたご意見については、参考とさせていただきます。

表 2-3 (3) 方法書説明会（第 2 回）における意見の概要及び事業者の説明

項目	説明会における意見の概要	事業者の説明
その他 (事後調査)	供用後の調査で、予測を上回る影響が出た場合、どのように対処していくのでしょうか。	予測値を上回る場合、基本的には鉄道施設で対策を行います。具体的な例として、振動の場合は、ゴム製マットが付いた防振枕木等を用いた対策を行います。
その他 (跡地利用)	地下化後の鉄道跡地の利用はどのようなのでしょうか。	鉄道跡地については、基本的に相模鉄道が所有する土地になります。 現時点では未定ですが、地域の公共貢献に繋がる利用となるよう協議を行って行きたいと考えています。
その他 (本事業の周知)	本事業について、町内会等でも説明を行ってきたとの事でしたが、どの程度の範囲を対象に説明を行ったのでしょうか。	連合町内会の会合やタウンミーティング等において説明しております。また、「鶴ヶ峰ニュース」を発行し、情報提供をして参りました。
その他 (まちづくり)	まちづくりについて、どのあたりを対象としているのでしょうか。また、現時点でどの程度進んでおり、今後どのような説明がなされるのでしょうか。	まちづくりについては、「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」が平成 31 年 3 月に策定されております。対象地域は鶴ヶ峰駅北口周辺であり、詳細についてはホームページ等に掲載されております。なお、所管は横浜市都市整備局及び旭区役所となります。
その他 (事業計画に関する意見)	今回の地下化の事業は基本的に賛成です。早期に事業を進めていただければありがたいです。	本事業についての、ご賛同のご意見、ありがとうございます。
その他 (事業計画に関する意見)	地下化というのは非常にうれしく思っています。	本事業についての、ご賛同のご意見、ありがとうございます。